

防災コラム

#008



名前：中村 佐記子

卒塾期：6期

活動地域：東濃地区（瑞浪）

連絡先：kikikanri@city.mizunami.lg.jp

防災にも女性の視点を！

私は、瑞浪市が開催した防災リーダー養成講座を受講後、防災士の資格を取得しました。2013年に結成された「みずなみ防災会」では、防災訓練や講話などの防災啓発活動を行っています。

防災にも女性の視点が重要ということから、2022年には「みずなみ防災会女性部会」を立ち上げました。

毎月テーマを決め、非常用トイレや非常食の試食などを題材に、女性視点での防災チラシづくりに取り組み、女性部会便りを発行しています。

避難所運営には、女性に限らず高齢者や障がい者、子育て家庭など、多様な方々への配慮や資機材が必要です。

そこで、瑞浪市と今後の避難所運営について話を進めていく中で、県の「女性等の視点を踏まえた避難所運営推進事業補助金」を活用した資器材整備の検討会議に参画させていただき、女性部会から市へ、女性視点を踏まえた必要資器材の提案を行いました。

これからの避難所運営は、資機材や物資を活かし、多様な被災者の背景に目を向け、寄り添いながら避難所の生活環境を整えることが大切です。

今後も、女性視点を踏まえながら、多様性に配慮した避難所運営や防災啓発活動を行っていきます。



令和5年「女性等の視点を踏まえた避難所運営推進事業」

防災コラム

#007



名前：藤村 祐子

卒塾期：2期

活動地域：岐阜市・中濃

連絡先：info_kanibousai@tg.commufa.jp

楽しく・解りやすい防災啓発を！

私は、女性目線の防災を中心として、子どもから乳幼児の保護者、高齢者、外国人の皆さんなどを対象に、幅広く防災啓発活動を行っています。

子ども向けには、私が会長を務める「可児市防災の会」が発案した防災ゲームを使って、防災教室を行っています。体験した子ども達からは、子どもならではの質問が飛び出し、私たちが学ばされることも多いです。

乳幼児の保護者や高齢者に対しては、民生委員でもある立場を活かして、解りやすくお伝えしています。

令和5年8月には、岐阜県外国人活躍・共生社会推進課から依頼を受け、県が主催する「外国人防災リーダー研修」に講師として参加し、意見交換のファシリテーター等を務めました。

また、令和5年11月にも、可児市で開催された「防災街歩き」に講師として参加し、外国人防災リーダーの方と街を歩きながら、危険個所について一緒に考えました。

今後も、受講者目線で、解りやすく・楽しく・納得できる防災講座を開催しますので、ぜひお声がけください。



令和5年11月 外国人防災リーダー研修

防災コラム

#006



名前：二村 チズ子

活動地域：下呂市

卒塾期：3期

連絡先：yuinasyun@gmail.com

地域防災・減災を知る、学ぶ、伝える活動を続けて

私は、下呂市を中心に、防災士のスキルアップを目的とした研修会を企画しています。また、子どもから高齢者まで、幅広い層に向けた防災活動をしています。

元々は介護士の仕事をしていたが、東日本大震災をきっかけに、介護だけでは災害対策が不十分であることを痛感し、防災活動に興味を持ちました。

そこで、平成23年に防災士の資格を取得し、地域防災を学び、伝える啓発活動を始めました。

令和5年には、県高齢福祉課が主催する、高齢者施設での伴走型支援事業に参加しました。

施設関係者の皆様と、豪雨災害を想定した避難訓練を実施し、得られた気づきや発見について話し合い、一緒に避難確保計画を考えました。

話し合いの中で、避難開始のタイミングや、高齢者の負担軽減、要配慮者の対応方法など、隠れていた課題を発見し、対策することで、より実践的な計画を作成していただくことができました。

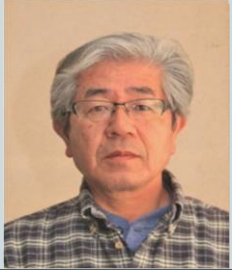
今後も、さらに多くの課題を解決するため、防災士の仲間たちと共に防災を学び、地域での防災啓発活動を続けていきます。



令和5年8月 伴走型支援事業（飛騨市）

防災コラム

#005



名前：岩茸 伸一

卒塾期：1期

活動地域：飛騨地域

連絡先：s.iwagoke@hidatakayama.ne.jp

より安全な避難計画を。

私は平成26年に防災士を取得し、地域で防災の普及活動を行おうとしましたが、当時はそのような活動団体がなかったため、翌年に「高山市民防災研究会」を立ち上げました。

平成28年には、清流の国ぎふ防災・減災センターの「げんさい未来塾」に入塾し、1年間をかけて防災・減災活動のスキルを習得しました。

現在では、児童・生徒や地域町内会等、様々な団体に向けた防災の普及活動を行っています。

令和5年には、県高齢福祉課が主催する、高齢者施設での伴走型支援事業に参加しました。

下呂市にある「特別養護老人ホームあさぎりサニーランド」にて、避難確保計画をもとにした避難訓練を実施し、計画の見直しをお手伝いしました。

この施設は、大雨災害からの避難を実際に経験しており、職員の皆さんが危機意識を持っていたため、より実践的な訓練ができました。また、避難完了から逆算して、より安全なタイムラインを作成し、行政が発表する避難情報前でも行動を起こせる体制が取れるよう考えていただきました。



令和5年 伴走型支援事業（下呂市）

防災コラム

#004



名前：伊藤 三枝子

卒塾期：1期

活動地域：岐阜県全域

連絡先：joseibosai2017@gmail.com

いろいろな方に届けたい防災活動 (多様性のある防災活動)

ひとたび災害が発生すると、あらゆる人が被害を受けます。

全ての人々が適切な防災知識を持ち、いざという時に、自分の身を守る行動に繋がっていただけるよう、女性の視点を踏まえ、地区防災組織、要配慮者、外国人の方々をはじめとした、様々な方々へ向けた防災活動を行っています。

その1つが、外国人の方々を対象とした防災啓発の取り組み。日本語に慣れていない外国人の方々には、災害情報が聞き取れず避難が遅れたり、避難所での食文化が異なる等、様々な問題を抱えています。

そこで昨年10月、岐阜県外国人活躍・共生社会推進課が主催する外国人防災リーダー研修において、「災害情報を知る方法や、避難所での生活について学んでみよう」をテーマに講座を開催。地震・水害が発生した場合に想定される問題、災害情報・避難情報の取得方法などについて、母国と日本との違いを対比させながら、オンラインで理解を深めました。

県内に住む外国の方々には、防災について改めて学んで頂けたことと思います。

これからも、あらゆる方々が「防災」を自ら考え、命を守るための行動を起こし、実践できる方がひとりでも多く増えるよう、活動を続けたいと思っています。お気軽にお声かけ下さい。



令和5年10月 外国人防災リーダー研修（オンライン）

防災コラム

#003



名前：伊藤 道廣

卒塾期：1期

活動地域：瑞浪市（東濃地域）

連絡先：wideroad_x@yahoo.co.jp

様々な防災訓練を承ります！

私が所属する「みずなみ防災会」は、2013年に発足し、現在では100名余りの会員が活動しています。

地域や学校、企業など、様々な団体からの要請に基づき、年間で約50回の防災講話や災害図上訓練、屋外での初期消火、地震体験、パッククッキング、体育館を使用した避難所開設訓練などを行っています。

当会の強みは、市役所や消防署・消防団、社会福祉協議会、災害救援ボランティアなどと連携し、様々な要望に対応できることです。

今年にはNHKや日経新聞などが主催する防災啓発活動にも協力しました。

令和5年11月には、岐阜県農政部からの要請を受け、瑞浪市では初となる「ため池災害図上訓練」を実施し、地域住民だけでなく、市職員や県職員にも訓練を体験していただきました。

訓練の対象地域は土岐川とため池に挟まれ、更には土砂災害が発生する危険性が高いことから、どのタイミングでどこへ避難するかを理解し、実践できるようにすることを目標に実施しました。

参加者からは、「地域の危険性がより理解でき、楽しかった。」との言葉をいただき、私たちの理念「楽しい防災訓練」が出来たとともに、私たちのスキルアップにも繋がる良い経験となりました。



令和5年11月 ため池災害図上訓練（瑞浪市）

防災コラム

#002



名前：足田 一男

卒塾期：2期

活動地域：羽島・岐阜

連絡先：bousai@sekitorikun.com

防災会との連携について

羽島の小熊地区に防災士による防災会を立ち上げ、自治会組織や小学校と共に、主に防災啓発活動をしています。小熊地区の皆さんの協力を得ながら、2年越しで地区防災計画の作成を行うことが出来ました。

また、時には他の地区へ出向き、拙い話を聞いて頂いております。

令和5年10月には、飛騨地区消防連絡協議会の消防防災研修会にて話をさせて頂く機会があり、小熊地区では防災会と自治会組織、消防団がどのように連携しながら活動をしているのかを話させて頂きました。

研修会の終了後には、話を聞いて下さった方々が、次々と質問に来られ、列を成す状態となりました。

ご相談の内容から、消防団の皆さんが、どのように地域と連携したら良いのかを苦慮されていることが、ひしひしと伝わってきます。

消防団を地域防災の核にしようと、国は法整備などを進めて来ましたが、現場では、暗中模索の日々が続いていることを実感しました。

今後もテーマに応じた話をさせて頂きますので、ご興味のある方はぜひご連絡ください。



令和5年10月 飛騨地区消防防災研修会の様子（下呂市）

防災コラム

#001



名前：山本 真紀

卒塾期：6期

活動地域：飛騨圏域

連絡先：blackdoglab3@icloud.com

自分サイズの「防災・減災」に取り組んでみませんか？

私は現在、地域・生活環境・年代に応じた取組みの提案やワークショップ運営のサポートなどの啓発活動をしています。

このきっかけは、平成30年7月豪雨災害で、避難所運営のお手伝いをしたこと。この時に地域防災の大切さを痛感しました。また、重度障がいのある息子への対応など、本当にわからないことばかりで、このままでは「だしかん」（このままではいけない）と思い立ち、防災について学び、啓発活動を始めました。

私が講師を担当した美濃地区での講座では、「参加者が自分事として考えられる仕掛けづくり」として、子どもから年配の方まで、その世代にあわせたワークショップの方法や、伝え方を説明しました。

これからも「防災」を身近な「自分事」として捉え、自ら考え、行動する方がひとりでも多く増えるよう楽しい啓発活動を続けていきたいと思っています。

こんな時、お声がけください！

- ①地域での各種防災学習会
 - ②小中学・特別支援学校の防災教室
 - ③地区防災計画作成ワークショップ
- ご希望に合わせた内容で実施します。**



令和5年7月 地域づくり型生涯学習講座（美濃地区）